

一関楽走会

令和7年
8月号
No613
発行責任者
佐藤東
Tel23-0101
090-6852-5852

7月例走会

6月6日、気温は22度です。Tシャツでも、走ると汗ばんできます。日の出は4時16分。6時の例走会は、とても走り易い。今日は、走る仲間の会岩手県交流会が、花巻市で開催され、一ノ関駅には、7時30分集合です。今回の進行は、佐藤文政さんです。

「走る仲間の会参加の皆さん。ご苦勞様です。私は、都合により参加できませんが、熱中症に気を付けて走ってください」と挨拶がありました。会長からは「今日は、走る仲間の会交流会。19日

走る仲間の会 岩手県交流会

走る仲間の会岩手県交流会「花巻大会」が7月6日開催されました。一関楽走会からは、16名が参加しました。9時30分からの開会式には、全ての団体が整列して、開会式があり、45分から6.7kmのランニング。申告タイム別のスタートです。走りながら、大会の思い出から、練習方法など他の団体の方と交流しました。会場の「風の季」温泉で汗を流し、12時30分から大交流会。

余興の一番目は、一関楽走会です。会長の挨拶の後、4日間練習した「大黒舞」を舞うことができました。衣装の準備から踊りの指導まで、小野寺仁さんにはご苦勞様でした。千葉健一

役員会

小野寺仁 大黒舞のリーダーとして、お話をいただいていたから少し不安でした。昔踊った仲間から、教えてもらい練習会に備えました。交流会に参加者のほとんどが、練習に参加し、何とかなるなどの感触をつかみました。衣装は、私の自治会から借りることができました。さすが、歴史ある一関楽走会です。皆様のご協力で、リーダーの大役を努めさせていただきました。ありがとうございます。



第3回役員会。
左から、小野寺仁・菅原東・畠山真佐実・小野寺良信・平井恒雄・阿部隆・菅原孝一・佐藤東 写真齋藤祐二

7月3日、山目市民センターにて、第3回役員会を開催しました。議題1 走る仲間の会について。16名の参加。当日の予定については、参加者に通知済み。議題2 大船渡線開業100周年駅伝について。参加者18名。出発式、中継所、到着式の運営について最終確認。議題3 会報の発行体制について。持続可能な発行体制にするため、大会記録、出場予定、走行距離の集計を分担し、複数で会報づくりを進めたい。

また、会員には大会記録等は、自主的に報告してもらう。議題4 監事の選任について。監事である岩淵吉郎氏、須藤正男氏が、今年になって相次いで逝去し、監事がいなくなってしまう。役員の選任は、総会で決めることになっている。(規約第6条) 但し、会長が必要と認めた場合は、臨時総会を開くことができる。(第7条) 年間予定表では、12月14日納会マラソンとなっている。これを臨時総会に替え、役員選任を議題として、開催する。議題5 あっぴりレーマラソンについて。9月14日開催で、案内状が届いている。行事参加アンケート調査では、10名の参加希望がある。昨年は2チームの参加とされていたが、すぐ走者順番がききたので、今年は、1チーム参加とする。

8月例走会

8月 3日 (日)

午前6時00分

河川敷「トリムコース」

司会進行齋藤明美さん

4月から10月は6時00分開会

会報原稿 募集

皆さんの寄稿をお待ちしております。

原稿×切 毎月15日

編集後記

楽走会のホームページは「一関楽走会」で検索

- 今年の自主事業「大船渡線開業100周年記念駅伝」が成功裏に開催されました。これも、ご指導いただきましたJR一ノ関駅関係者様はじめ多くの方のご協力の賜物です。私たちは、走ることをとおして、健康と、会員相互の親睦を図ることを目的としています。そして、それが地域の皆さんに何か役に立てばこの上のない幸せです。
- 役員会で協議しましたが、持続可能な会報づくりのため、ラインを使って情報提供をお願いしたいと思います。やり方は、ハガキで周知いたします。
- 事務局長 齋藤祐二 連絡先：080-8213-1136 Kinako19631014@outlook.jp

開催日	大会名	出 場 予 定 者(把握した範囲内)
8月23日	遠野マラソン	安彦節子・安彦敏郎・四垂真弓・千葉勇一
8月31日	北海道マラソン	齋藤祐二
9月14日	あっぱりレーマラソン	安彦節子・安彦敏郎・小野寺仁・吉川勝哉・佐藤東・四垂真弓・菅原孝一・畠山真佐実・細川慎一

6・7月大会記録

・6/29 函館マラソン

ハーフ

齋藤祐二 1:37:03

・7/13 小布施見にマラソン
(長野)

ハーフ

齋藤祐二 1:34:14

齋藤明美 2:39:37

大船渡線開業100周年駅伝



これから、一ノ関駅～気仙沼駅の75.5km走る切るぞ！意気揚揚の皆さん。

19日、4時30分一ノ関駅。既に佐藤文政さん、平井恒雄さんの姿がありました。4時50分、出発式。平井さんの進行により、開会文は文政さん。一関市長さんの挨拶は、まちづくり推進課長の鈴木勝憲さんからいただきました。鈴木課長の合図で、会員一斉にスタート。気仙沼駅までの75.5kmの駅伝がスタートしました。1区は、真滝駅までを齋藤祐二さんが担当。真滝駅には5時37分着。地元の渡辺一男区長に、お出迎えをしていただきました。2区は、柴山東治さん、菊田和夫さん、菅原孝一さんが担当。国道284号北上大橋経由して、陸中門崎駅には、6時51分着。3区は、阿部隆さん。途中大船渡線乗り列車とすれ違う。4区は、大越昭夫さん。陸中松川駅駅目指して砂鉄川沿いを走る。松川駅には、7時57分着。予定時刻は8時29分。34分速い。

出迎えることにしていたとのこと。しかし、私達は予定時間を待たずに、出発してしまいました。大変申し訳ありませんでした。5区は齋藤明美さん。長坂の街を通り抜け、狹鼻溪駅に8時23分到着。予定時間は、8時52分。ここでも、地元の方が出迎えに来てのことでしたが、私達は予定時刻前に出発してしまいました。6区は、熊谷秀雄さん。一関大東線の1kmは平坦ですが、東山支所入り口から1.8kmは上り坂。自転車に伴走している細川さんから、何度も励まされ、やっとのこと大船渡駅到着。7区は、小野寺仁さん。下りを利用して、軽快に走る。大東に入り、摺沢駅に到着。摺沢市民センター菅野所長様外皆様に迎えていただき、また、歓迎の言葉をいただきました。8区は、四垂真弓さんと吉川勝哉さんが担当。四垂さんは、市街地1km平坦でしたが、その後4kmは上り坂。持ち前の脚力でグイグイ走ります。吉川さんも、アップダウンのコースを走り、千厩駅到着。千厩駅では、3区長小野寺賢さんら20名の方にお出迎えしていただきました。9区は、西城孝さん。

6月走行距離

順位	名前	6月	累計
1	菊田和夫	275	1,691
2	千葉隆	245	1,348
3	小野寺卓司	228	1,326
4	齋藤祐二	211	1,392
5	菅原孝一	186	1,081
6	畠山真佐実	177	1,130
7	大越昭夫	161	817
8	小野寺伸也	150	300
9	細川慎一	134	790
10	阿部隆	130	989
11	小野寺仁	125	813
12	安彦敏郎	121	624
13	佐藤東	118	430
14	四垂真弓	114	929
15	佐藤文政	106	765
16	平澤和則	100	346
17	吉川勝哉	92	602
18	伊藤克則	60	860
19	安彦節子	60	385
20	柴山東治	51	1,234
21	小野寺良信	45	465
22	齋藤明美	42	525
23	川向愛斗	20	30
24	千葉勇一	17	235

暑い中頑張ってく走りました。小梨駅では、小梨市民センター所長千葉康雄さんに出迎えていただきました。10区は、伊藤克則さん。矢越駅までの4.4km上り坂が続きます。矢越駅では、室根市民センター所長の金森勝利さんに出迎えていただきました。11区は、安彦節子さん。折壁駅までの室根市街地を走ります。折壁駅では、地元の千葉繁美さんに出迎えていただきました。12区は、安彦敏郎さんと小野寺良信さん。新月駅までの5.7kmは、暑さとの戦いでもありました。13区は、畠山真佐実さんと、会長佐藤東さんが担当。ゴールの気仙沼駅では、駅関係者、地元の皆さんが、大勢詰めかけ佐藤会長が、ゴールテープを切りました。到着式では、気仙沼市長さん、気仙沼市長さん、地元市会議員さんからの歓迎の言葉をいただきました。



気仙沼駅周辺の皆様には、お揃いのハッピーと、小旗を振って、熱烈的な歓迎をいただきました。また、帰りの気仙沼駅では、プラットホームでの見送りまでしていただきました。感謝に堪えません。

多くの関係者の皆様のお陰様で、無事、事故なく完走することができましたこと、深く感謝申し上げます。ただ、陸中松川駅、狹鼻溪駅に応援に来ていただきました皆さんには、大変申し訳ありませんでした。心からお詫び申し上げます。

エッセイ投稿

新しい世界の扉を開けてみたら

2年前、朝から出勤の生活が終わった春先、早速週一だけでもとバイトを開始。さらに、民生委員のお誘いで「ふれあいサロン」で脳の取り組みをする中で、おしゃべり仲間が増えました。

去年、一関市民センター主催の霜紅大学のチラシがきっかけで、「生き生き健康体操」の講座に入り、体が軽くなる爽快感を味わうことができました。

そして今年、霜紅大学で、あらたに「書道」と「童謡・唱歌」講座にも入り、一つの世界に夢中になる心地よい瞬間や大きく口を開けみんなで歌い合う楽しさを味わいました。

さらに、中里大学の「運動(グラウンドゴルフ)」では、下手でも自分なりに楽しむべよいいことを悟り、タオルやボールを使った「体操」では、一度もできなかった胡坐をかけるようになるという副産物までいただきました。思い切った新しい世界に飛び込んで、本当に良かった。